

目次

はしがき

第I部 伊勢国司北畠氏と自治的な町・村

第一章 応仁・文明の乱と北畠氏……………岡野友彦…3

1 伊勢・志摩・伊賀の地域構造 3

伊勢 志摩 伊賀

2 大乱前夜の伊勢国 6

伊勢国司北畠氏 北畠一族と木造氏 安濃郡の長野氏 鈴鹿郡の関氏 伊勢神宮
の神郡支配

3 足利義視の伊勢下向 10

応仁の乱と足利義視 伊勢下向の経路 なぜ北畠氏を頼ったか 義視の帰京と西軍
化

4 北畠氏の伊勢守護就任 14

土岐世保氏の伊勢守護就任 北畠氏と土岐世保氏の対立 西軍による後南朝擁立

教具は守護に就任したか 国司と守護の併任 一事両様の御成敗

5 隣国大和国との関わり 20

両畠山の対立と大和国人 沢氏の家督争い 興福寺東門院への入室 北畠政郷（政勝）と畠山義就

第二章 宇治・山田合戦 岡野友彦 26

1 宇治と山田の対立 26

内宮と外宮の対立 詔刀師沙汰文 伊勢御師の成長 神人と神役人の争い 山田三方の成立 宇治の自治組織 宝徳の刃傷事件

2 伊勢国司北畠氏の介入 33

伊勢国司北畠氏と伊勢神宮 北畠氏の神三郡支配 新警固の設置と神宮廻船

3 文明十八年の宇治・山田合戦 37

岡本番屋をめぐる死 村山掃部助榎倉武則 戦雲迫る 外宮炎上 荒木田氏経の死

4 長享三年の合戦とその後 41

宇治包囲網 一進一退の攻防 内宮正殿乱入 延徳密奏事件

第三章 明応の大震災 岡野友彦 47

1 巨大地震と巨大津波 47

南海トラフ巨大地震 過去の南海トラフ地震 明応地震発生 駿河・遠江の被害 鎌倉の被害 紀伊半島西部の被害

2 伊勢・志摩の被害 53

第四章 戦国大名北畠氏と地域社会……………岡野友彦 …… 66

- 3 繰り返される南海トラフ巨大地震 61
- 伊勢大湊の被害 大塩屋御園の被害 志摩国の被害 閭浪大浪・大風洪水 安濃津の被害 多気北畠館の焼失と再建

慶長地震 宝永地震 嘉永（安政）東海・南海地震 昭和東南海・南海地震

1 北畠逸方と具方（材親） 66

無外逸方寿像をめぐって 政勝・具方両国司並立 具方と材親 伊勢国司兄弟合戦 三好長秀誅伐

2 北畠晴具（具国・天祐）と具教 72

北畠具国と細川高国 北畠氏館跡庭園をめぐって 高国の辞世をめぐって 大物崩れと晴具の出家 北畠天祐から具教へ

3 北伊勢をめぐる長野氏と六角氏 79

長野氏の北伊勢進出 長野氏の桑名進出 管領代六角定頼 北方一揆梅戸氏 角氏の伊勢侵攻

4 一揆する人々 84

山田一揆と三方土一揆 小倭郷一揆と徳政衆 北畠氏の徳政令と徳政免除 伊賀惣国一揆の成立

第五章 織田信長の伊勢・伊賀侵攻……………岡野友彦 …… 89

1 織田信長の伊勢侵攻 89

永禄初年の伊勢国 信長伊勢侵攻の始まり 永禄の変と信長の上洛 信長の軍門に

下る

2 伊勢長島一向一揆 93

長島一向一揆の始まり 大湊水軍の動員 九鬼嘉隆の登場 男女悉く撫で切り

3 北畠具教と織田信意（信雄） 97

北畠信意の家督相続 三瀬の変

4 天正伊賀の乱 100

中世の伊賀 北畠信雄の伊賀侵攻 本造家と名張郡 伊賀奉行十人 織田軍による伊賀総攻撃 本能寺の変とその後の伊賀

第六章 秀吉政権と織田信雄の改易……………岡野友彦…106

1 小牧・長久手合戦と伊勢・志摩・伊賀 106

本能寺の変直後の伊勢・志摩・伊賀 賤ヶ岳合戦 小牧・長久手合戦の始まり 長引く攻防戦 尾張・北伊勢四郡の大名へ

2 天正十三年の領国再編成 111

信雄分限帳 旧信雄領国の再配分 蒲生氏郷と南伊勢

3 織田信雄・蒲生氏郷から本多忠勝・藤堂高虎へ 115

織田信雄の転封と改易 蒲生氏郷の会津転封とその後の伊勢 相次ぐ知行替え 本多忠勝と藤堂高虎の入国

第Ⅱ部 戦国期紀伊半島東部の諸相

第七章 乱世に活躍した傑僧たち……………多田實道 …… 123

1 長島願証寺——蓮淳・実恵・証恵・証意…………… 123

浄土真宗本願寺派の成立と発展 本願寺派の伊勢国浸透と加島法流 長島山願証寺の創建 願証寺の成長 長島一向一揆とその後

2 真慧上人と専修寺…………… 129

高田門徒の成立——真仏と顕智 真慧の「上方御登」 真慧の伊勢国下向 一身田無量寿寺の創建 無量寿寺から専修寺に

3 真盛上人（円戒国師）…………… 136

出生と修学 隠遁から立教へ 宮中進講 独特の宗風 惶怖の教諫 大往生大空玄虎（潤通仏性禅師）…………… 143

伊勢の虎蔵司 浄眼寺の開創 北畠氏と安養寺 了庵から大空へ 天照大御神参禅・受戒伝説 廣泰寺の開創と示寂

5 慶光院と伊勢神宮…………… 151

宇治橋勧進聖の出現 守悦の宇治橋勧進 清順の宇治橋勧進と外宮式年遷宮 周養の勧進 織田信長の寄進 豊臣秀吉の寄進と両宮式年遷宮の復興

第八章 都市と流通……………伊藤裕偉 …… 158

1 都市と村の変容 158

伊勢湾西岸部の地域的特性 明心地震と港町 墓地の変容 集落構成の変化

2 広域と狭域の並立 163

地域構造の変化 屋号から探る地域構造 析出された「都市的な場」・丹生 都市

山田の発達 戦国期の土器生産と流通

3 道と旅 174

戦国期の旅 交通とその施設 地域霊場の成立 旅の世俗的側面

第九章 伊勢神宮周辺の戦国文化……………岡野友彦 …… 178

1 戦国期伊勢の和歌と連歌 179

伊勢神宮周辺の和歌と連歌 伊勢国司北畠家の連歌 荒木田守武の俳諧連歌

国永『年代和歌抄』 北畠

2 戦国期に遡る諸芸能 183

伊勢猿楽座 御頭神事 かんこ踊り 上げ馬神事

第十章 伊勢・志摩・東紀州・伊賀の城……………竹田憲治 …… 189

1 北伊勢の城 189

山田城と員弁の城 梅戸城と大井田城 西ノ広城と伊坂城 三重郡の城

2 中伊勢の城 201

関氏領域の城 長野氏領域の城

人名・神名索引					
事項索引					
関係年表	243				
あとがき	239				
参考文献	229				
		3			
		南伊勢の城	206		
		北畠氏と多気			
		東紀州の城	214		
		京城			
		4			
		伊賀の城	216		
		5			
		近世への胎動	219		
		6			
		織田信長の南伊勢侵攻			
		城と豊臣政権			
		「天正伊賀の乱」と付城			
		「小牧長久手の戦」と付城			
		赤木			
		一志郡・飯高郡の城			
		北畠氏と田丸城			
		宮川上流域の城			